



## 水田が、長方形に区切られているのはなぜ

### 農作業がしやすくなるように整理したから

日本の稲作地帯の水田を見ると、長方形に区切られている所が、たくさんあります。水田がどこまでも続いている景色は、とてもきれいですね。このように長方形になる前の水田の形は、ばらばらでした。面積が大小に分かれていたり、形が四角形であったり、場所の悪い所は、三角形だったりしました。このように、土地の形がばらばらだと、農作業の能率が悪くなるし、農業機械が使いにくくなります。また、収穫量も上がりません。

そこで、農地の区画の形を整え、それにもなって、農道や農業用水路を整備する、耕地整理事業が行われるようになったのです。その後、このような事業を、ほ場整備事業というようになり、区画整理(耕地整理)や農道整備、水田の水はけをよくする事業や、畑のかんがいなどの事業が進められました。

### 機械化が進み、合理化ができる

ほ場整備をすると、農地が長方形になり、しかも、農道がつくので、田植え機械やかり入れ機械などの農業機械が農地に入れるようになります。そうすると、作業能率が上がり、収穫量が増えるようになります。

また、あちこちにちらばっていた自分の農地を、ほかの人と取りかえ、一か所にまとめることも行われたので、むだに移動する時間が、節約できるようになりました。

このような、ほ場整備によって、農作業の機械化と省力化がはかられ、合理的な農業経営ができるようになったのです。(監修・青木 国夫)

